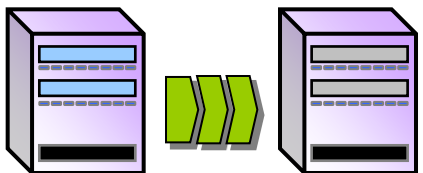
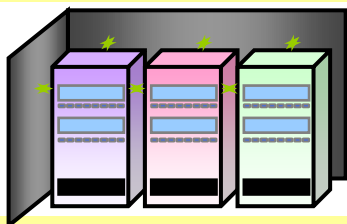
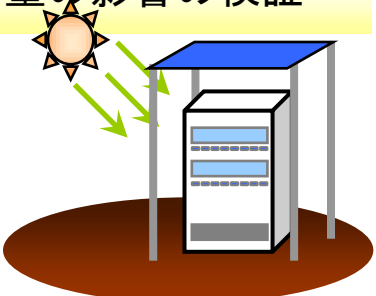
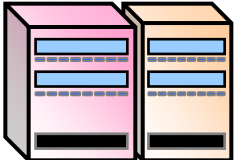
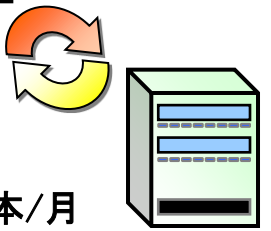


<p>省エネ 手法 (大分類)</p>	<p>1. 既存省エネ機能の 有効活用</p>	<p>2. 外乱影響の低減化</p>	<p>3. 最適配置</p>
<p>手法の 概要</p>	<p>利用可能な時間帯に合わせて、 本体にある既存省エネ機能の 設定変更を行う</p>	<p>周囲温度や日射等、 消費電力量への影響が強いと 考えられる要素を簡易な手法 (壁から離す、日除けを付ける 等)により低減化</p>	<p>売上に対して、 最小限の容量・台数である 自販機を設置</p>
<p>具体的な 省エネ 手法 (小分類)</p>	<p>① 照明の点灯時間の変更</p> <p>② 夜間の圧縮機停止</p>  <p>23:00~8:00 消灯</p> <p>23:00~5:00 圧縮器停止</p>	<p>③ 周囲温度の上昇の低減</p>  <p>④ 日射量の影響の検証</p> 	<p>⑤ 売上に対応した最適配置</p>  <p>24セレ + 20セレ 合計 3000本/月</p>  <p>36セレ 合計 3000本/月</p>